



# 新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和6年11月5日  
第7号(音楽祭号)  
☎ 0254-22-3824  
📠 0254-26-3543

音楽祭が終わりました。そこには、仲間とともに、「心を開いて、身体いっぱいに歌う姿」がありました。

## 心を開く

～「音楽祭」校長挨拶、音楽祭後の「全校朝会」校長講話 より抜粋～

校長 今野 由紀子

音楽室には、重点目標として「姿勢」「呼吸」「発声」「表情」の4つの言葉のカードが掲示してあります。皆さんは、音楽祭の日まで、どのクラスもその4つを目標に自分たちの合唱を創り上げてきました。練習が始まると凛とした姿で立ち、歌い出しの呼吸の音が教室に響き、身体いっぱい思いを込めて歌う、そんな「心を開いた歌声」、それが東中学校の合唱なのだ、練習する皆さんの姿を見て感じました。その姿は尊く、見る人に聴く人に大きな感動を与える力がありました。どのクラスも練習からそんな姿でしたから、当日は、「心を開いた、身体いっぱいに歌う姿」に感動で胸が一杯になりました。

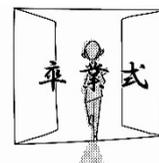


音楽科教員による重点の掲示物

1年生も、2年生も、3年生も、共通していえることは、リーダーが「自分たちの合唱を、みんなで創り上げる」という目標をもち、最後の最後までクラスや学年をまとめ上げ努力し続けてきたということ、そして、歌の苦手な人もそうじゃない人も全校の皆さんが、みんなで取り組むことの尊さを感じ、一体となって合唱を創り上げようという気持ちで取り組んできたということです。この姿こそ、ここまできた過程こそが尊いのだと思います。皆さんはこの音楽祭の取組を通して、何を得たのでしょうか。この仲間と歌えてよかったという感動でしょうか。それとも自分への感謝、仲間への感謝…でしょうか。

指揮者、伴奏者の皆さん、合同練習をしながら、音楽祭まで努力をし続けてきたことに敬意を表します。本当にお疲れさまでした。そして全校の皆さん、皆さんの前向きな取組一つ一つは、必ずステキな自分をつくります。仲間と頑張っ取り組んできたことは、必ずこの後の人生にとって大きな自信となり、皆さん自身をずっと支え続けていくことでしょう。

皆さんが過ごす一日一日は、必ず卒業式の姿につながっていきます。その時に、仲間と肩を寄せ合って、「この仲間と過ごしてきた良かった。」と言って卒業してほしいと心から願っています。仲間を大切にでき、仲間とともに頑張ることに一生懸命だった皆さんは、本当にステキでした。感動をありがとう。



# 音楽祭までの道のり ～過程こそが尊い～



3年生合唱曲



今年の音楽祭のスローガンは「最響～ハーモニー 掴み取れトロフィー～」です。最高の音楽を体育館に響かせようという思いと、最響という文字は最も響くと書くので、最も歌声を響かせられる音楽祭にしようという願いが込められています。今年は、昨年度よりもトロフィーの数が増えたので、残りの時間をみんなでしっかり取り組み、トロフィーをもらうことができるよう頑張しましょう。

音楽祭実行委員長



プログラム表紙デザイン絵

3年生

<全校合唱練習にて>

初めて全校で合わせてみて、教室とか音楽室で歌っている時と、響きが違って難しいと思うけど、全校で力を合わせて本番も頑張っていきましょう。

<全校合唱練習にて>

意識とか変えたことによって、比べものにならないくらい上手くなったので、一人一人が今の気持ちを忘れないで、本番に向けて頑張しましょう。

<全校合唱練習にて>

歌い出しの呼吸が合ってきて、だんだんと声が出てきて、いい合唱になってきました。本番に向けて頑張っていきましょう。





## 音楽祭 10月31日(木)



### 【地域の方の声】

爽やかな秋空の下、素晴らしい合唱を聴かせていただき、感謝・感激でした。生徒一人一人の真剣さがひしひしと伝わって、胸が熱くなりました。難しい曲のすてきなピアノ演奏（いったいどれくらい練習を積むのでしょうか）、また、男子生徒の流れるような指揮！感動しました。全校合唱の「翼をください」には、迫力と願いが込められていました。横田めぐみさん救出の知人・同級生が歌う祈りの歌！テレビで何度も聞き、何もできない私は胸を痛めてきました。恥ずかしい限りです。せめて祈るだけです。全校生徒の皆さんの歌声を間近に聴き、目頭が熱くなりました。合唱祭！素晴らしい伝統です。表彰式では、お互いが讃え合い絆を深められたことでしょう。嗚呼！素晴らしい宝の時間でした！

